

—店頭募金のご報告—

サークルK・サンクスの店頭募金で建設支援した「七ヶ浜みんなの家きずなハウス」がオープンしました。

サークルK・サンクス店舗（2017年2月末 5,348店舗）で実施した店頭募金は、2017年2月まで3団体に寄付してきました。そのうちの1団体である「認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード」により、この度「七ヶ浜みんなの家きずなハウス」が完成し、オープニングセレモニーが開催されました。

セレモニーでは復興大臣のメッセージ紹介、来賓各位からのご挨拶があり、ファミリーマートからは、竹内取締役専務執行役員がこれまでの活動を振り返るとともにお祝いの言葉を述べました。

セレモニーの後は、こどもたちによるミュージカルや、各種ゲームなどが開催され、地元の方を中心に500人もの方が思い思いに楽しみました。



七ヶ浜町長 寺澤 薫様（右）とハウス内銘板の前で記念撮影をする取締役専務執行役員 竹内 修一（右）

「七ヶ浜みんなの家きずなハウス」とは



「七ヶ浜みんなの家きずなハウス」は、東日本大震災で被災した七ヶ浜町の住民やこどもたちのための交流の場として建設されました。

建物の建設には、NPO法人「HOME-FOR-ALL」とレスキューストックヤードが関わり、建設資金にはサークルK・サンクス店舗に寄せられた店頭募金が使われました。

なお、建築後は七ヶ浜町へと寄付されましたが、運営はレスキューストックヤードが復興支援活動の拠点として行っていきます。

今後は、地元の皆様の憩いの場として、様々なイベントや交流行事が開催される予定です。

今回お披露目された「七ヶ浜みんなの家きずなハウス」（上）と、ハウス内に掲げられた銘板（左）





竹内取締役専務執行役員がお祝いの言葉を述べました



来賓の方々を中心にくす玉を割りました



子どもたちにハウスの鍵が渡されました



照りつける太陽の中、ファミリーマートコレクションのお茶やお水をお配りました



七ヶ浜の子どもたちによりミュージカルが上演されました



2014年度の寄付で提供した「きずな号」も会場に用意されました

「レスキューストックヤード」ご紹介



認定特定非営利活動法人レスキューストックヤードは1995年阪神・淡路大震災を契機に設立し、愛知県名古屋市に事務局を置いて活動する災害救援NPOです。

東日本大震災においては、震災直後から宮城県七ヶ浜町を拠点にして、外部からのボランティアや行政、企業等と地元とを結ぶパイプ役にもなって、現在も活動を継続しています。

サークルK・サンクスでは2014年度より店頭募金による寄付を開始し、2014年度にお預かりした店頭募金では、仮設住宅暮らしで居場所の無い子ども達に、マイクロバスを改造した学びの場「きずな号」を提供しました。また、それ以降にお預かりした店頭募金は、「七ヶ浜みんなの家きずなハウス」の建設・運営に生かされています。

<サークルK・サンクス店頭募金実績>

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| ①きずな号作成資金 | 19,063,970円 (2014年度) |
| ②七ヶ浜みんなの家きずなハウス建設・運営資金の一部 | |
| | 計23,698,159円 (2015、2016年度) |

皆様からのあたたかいご支援、ありがとうございました。

ファミリーマートは、事業活動を通じて常にお客さま、地域社会、そして地球を幸せにする存在となることを目指します。